

東紀州実習の感想紹介

私は、御浜町立尾呂志学園小・中学校で実習を行いました。全校児童生徒は17名。小学生と中学生が一つの校舎で学んでいました(小学校2・3年生、4・5年生は複式学級)。実習中、全クラスの授業を参観させていただき、ときには一緒に授業へ参加しました。また、小学校2・3年生の学級で、毎日、算数の授業をさせていただきました。複式学級での授業は経験がなかったため、授業を考えるのは大変でしたが、とても良い勉強になりました。とにかく、子どもたち同士が仲良い。優しい。明るい。休み時間になると、体育館で小中の子どもたちが一緒に遊ぶことが何度もありました。先生方も一つにまとまっていて、本当に素晴らしい学校でした。もう一度、いや、何度でも行きたい学校です。

学校経営力開発コース 3期生 加藤 大輔

私は、尾鷲市立輪内中学校に2週間お世話になりました。輪内中学校は、全校生徒11人ととても少人数の学校です。私の勤務校は全校生徒900人ほどの市内でも一番大きな小学校です。今回、少人数の学校に行くことができるワクワク感と、中学校に行くというドキドキ感を持ちながら実習に臨みました。行ってみると、先生方も生徒たちもとても温かく、不安はすぐに一掃されました。輪内中学校では、たくさんのことを学びました。特に自分の中で新しい気付きが多かったのが少人数への教育です。1クラス2人または4人に対してどんな授業をするのか。生徒はどんな学び方をするのか。私も授業をする機会をいただきました。少人数であっても一人で課題に向き合う時間、生徒同士で学び合う時間、また全体で共有する時間を使い分ける大切さを感じることができました。一人一人を細やかに見ることができる等、始めは少人数教育の良さばかりに目が行きましたが、少人数教育ならではの課題や難しさにも気付くことができました。今回東紀州実習で学んだことを今後の教員人生に生かしていきたいと思います。今回の実習に関わっていただいた全ての方に感謝したいです。

学校経営力開発コース 3期生 吉岡 竜吾

「“つながり”をつくる」は職場から

尾鷲中学校の実習で、中学校で勤務したいと思っていた私の気持ちが再び蘇ってきました。生徒たちと将来に向かって一緒に進路を考えたり、汗を流して部活をしたりする。・・・そんな生活を教員生活の最後におくりたいと思うようになりました。森脇先生から「中学校へ行きたいというよりは、この尾鷲中学校がいいということではないですか。」というお言葉をいただき、「なるほど。」と納得できました。研修テーマの「“つながり”をつくる」を実現したかのように、職員のみなさんが強くつながって見えました。同僚性の大切さを、学ばせていただきました。尾鷲中学校の校長先生や教頭先生、職員のみなさん、生徒のみなさん、ありがとうございました。

学校経営力開発コース 3期生 尾上佳代子

私の実習先は、全校児童10名ほどの小さな学校でした。はじめての複式学級での授業は、「わたり」が難しかったです。「わたり」とは、1・2年生の複式学級の場合、1年生を指導し、タイミングを見計らって、2年生を指導することです。まず最初に、どちらの学年に発問を投げかけるか、他学年を指導している時、どのような適応問題をさせるか、など考えることが多かったです。授業をする時に、教材研究は2学年分しなければなりません。複式学級ならではの大変さがあると感じました。実習先の子どもたちは、とても明るく表情豊かで、実習を終えることが寂しかったです。実習先へ行く道中で、鹿や猿に遭遇したり、霧を何度も見たり、自然がいっぱいで心穏やかになりました。

学校経営力開発コース 3期生 川上 文香

私は賀田小学校で非常に充実した9日間の実習を行わせていただきました。実習期間中に運動会が行われ、全校児童による一輪車の表現活動を行っていました。本番では個人技の時間が設けられ、一人一人が活躍する場がありました。本番に向けて、休み時間に寸暇を惜しんで練習する子どもたちの姿を見て、胸を打たれました。地域の方がPTA競技に笑顔で参加する姿や勝つために一生懸命な姿から地域と学校の強いつながりを感じました。また片付けでは、多くの方が協力してくださったため、5分程度で完了し、感動しました。教職員の方々が「何があっても子どもが一番」とよく話していました。児童の一生懸命な姿や学校と地域との強いつながりをみられたのは、その信念があったからだと思います。私も子どもを第一に考える事ができる教師になりたいです。

教育実践力開発コース 2期生 松葉 憲彦

編集・発行 三重大学大学院教育学研究科 教職実践高度化専攻（教職大学院）広報担当

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577

✉ info-mkd@edu.mie-u.ac.jp

三重大学教職大学院ウェブサイト <http://mkd.edu.mie-u.ac.jp>